

ASAGIRI Town Creation PROJECT

あさぎり町
まち・ひと・しごと
創生推進事業

あさぎり町企業版ふるさと納税

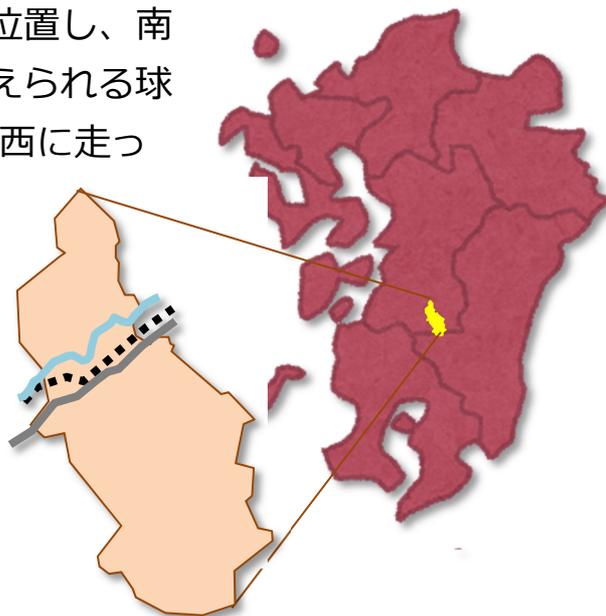
町の概要

あさぎり町は熊本県の南部、球磨盆地の中央に位置し、南は宮崎県に接しており、日本三大急流の一つに数えられる球磨川、国道219号線、くま川鉄道が町の中央を東西に走っています。

気候は比較的温暖多雨ですが、盆地特有の内陸性気候となっており、年間を通じて霧の発生が多い地域で町名の由来になっています。

人口	14,685 人
世帯数	5,348 世帯

※令和2年国勢調査



あさぎり町まち・ひと・しごと創生推進事業とは

豊かな自然環境や、多種多様で活気ある産業など、あさぎり町の魅力を活かしながら、これからも持続的に発展していくことを目的として事業を実施します。

3つの目標



若者が活躍するまち



豊かなまち



幸せ感じるまち

< 具体的なプロジェクト（取り組み） >

Point①

「あさぎり商社」の設立

目標達成の一つの施策として「あさぎり商社」を新たに設立し、6つの取り組みを実践していきます。（※5ページ参照）

Point②

健幸のまちづくりプロジェクト

すべての住民がいきいきと暮らし続けるためには、一人ひとりの健康づくりに加え、医療・福祉機関を含めた地域社会全体で取り組むことが有効であることから、スマートウェルネスシティの考え方にに基づき、6つの取り組みを軸に住民の「健幸」を推進します。（※6ページ参照）



「住みたい・住み続けたいまちを目指して」

若者が活躍するまちづくり

結婚から出産、子育てまでの切れ目ない子育て支援を充実させ、包括的な福祉事業を展開し、だれもが安全で安心して住みたくなる環境づくりを行います。

また、働き方の変化に対応し、テレワーク、ワーケーション、副業や兼業、マルチワーク、半農半Xに対応できるまちづくりを推進します。



実現に向けた取組

子ども食堂開設の支援、子どもの遊び場整備、コワーキングスペース・シェアオフィス・サテライトオフィスの整備

空き家の利活用、U I J ターンの推進他

創造される新たな「価値」

- 結婚・出産・子育ての夢がかなうまち
- 新しいことにチャレンジできるまち
- 子どもたちが健やかに育ち、街中から笑い声が聞えるまち

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





「新しい時代の流れを活力に変える」

豊かなまちづくり

町内の産業基盤強化や新たな技術の導入などによる安定した雇用の場を作り、人材の確保に取り組み、女性や高齢者、障がい者、外国人技能実習生など多様な人材が活躍できる環境づくりを関係機関や民間と連携して取り組んでいきます。

また、農林水産資源と関係人口を活かし、新たな雇用の創出を目指します。



実現に向けた取組

地域プロジェクトマネージャーと地域おこし協力隊の活用、特定地域づくり事業協同組合の設立、農業経営分析事業、アグリバレー構想の推進、あさぎり中学校農業体験ラボ、スマート農業の取組、農産物栽培の研究と生産者の育成等

創造される新たな「価値」

- あさぎり式ビジネススタイルの構築
- 効率的で効果的な人材確保の形を創出
- 異業種間の連携による新たなビジネスの創出





「すべての町民に生きがいと、安心安全で豊かな生活を」

幸せ感じるまちづくり

すべての町民が生きがいを持って健康に暮らしていくために、子ども・障がい者・高齢者を誰一人として取り残すことのない事業を展開します。安心して生活できる、安心して働くことのできる環境を整備し「幸せ感じるあさぎり町」実現のために、多様な人材の活躍を推進し、隣近所で支え合う地域社会を構築します。



実現に向けた取組

ご近所支え合いネットワークおよび自主防災組織の普及推進、福祉事業の充実、脱炭素社会実現に向けた環境整備、持続可能な地域社会実現の取組他

創造される新たな「価値」

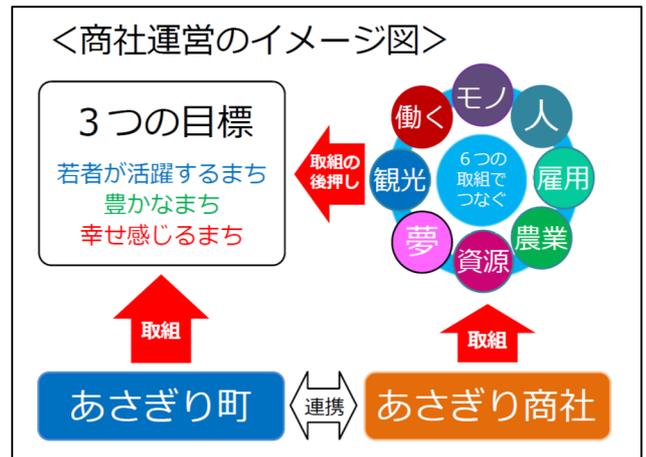
- ▶ 住民が支え合い地域を守る、安心安全な防犯防災体制の構築
- ▶ 恵まれた自然環境を活かし、いつまでも元気に生活できるまち
- ▶ 世界に誇れる脱炭素社会の実現



「ここにしかない「価値」を創る」

あさぎり商社

町の持続的な発展と、基幹産業である農業で経営をさらに向上させるには、地域外との交流や関係により得られる知識やネットワークを活かし、地域内の資源や人材に目を向け、それぞれの個性を活かした地域主導の「内発的発展」を促し、人材の隠れた能力を顕在化させ、「稼ぐ仕組み」をつくります。



「企業版ふるさと納税」を商社の事業費として活用します

「企業版ふるさと納税」は、「あさぎり町まち・ひと・しごと創生推進基金」へ受け入れ、その一部をあさぎり商社が取り組む事業費として活用します。

あさぎり商社が町を支援する「6つの取り組み」

- ① 特定地域づくり事業協同組合の設立
- ② 産・学・官連携によるアグリバレー構想
- ③ 事業承継の支援(経営の持続と発展)
- ④ パソコン、農業簿記の研修事業
- ⑤ 農業DXの推進(生産現場におけるデジタル技術の活用)
- ⑥ 企業とコラボした新たな事業

「安心して住み続けられるまちを」

健幸のまちづくりプロジェクト

健康が町民の幸福な生活を支える大切な要素であるという観点から、全国約110の市町村とともに、筑波大学の研究データをもとに、健康づくりに取り組む民間企業の協力を得て、ICTやAIを活用した「あさぎり町に暮らすことで健幸（健康で幸せ）になれるまち」を目指すSWC事業に取り組めます。



くま川鉄道

※SWC（スマートウェルネスシティ）とは
高齢化・人口減少が進んでも、住民が「健幸（心身の健康だけではなく、人が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること）」であること

プロジェクトの軸となる「6つの取り組み」

- ①医療機関と連携した運動教室の実施
- ②市街地の歩道を整備し「歩いて健康づくり」を実現
- ③サイクリングロード活用で車社会から「健康社会」へ
- ④公園整備による「親子ふれあい」の場の提供
- ⑤サロン・介護予防体操による「高齢者の健康づくり」
- ⑥健診受診率アップの取組

あさぎり町企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税とは、内閣府の認定を受けた地域再生計画に基づき、あさぎり町が実施する「まち・ひと・しごと創生寄付活用事業」に対して、企業のみなさまが寄付を行った場合に税制上の優遇措置を受けることができる制度です。

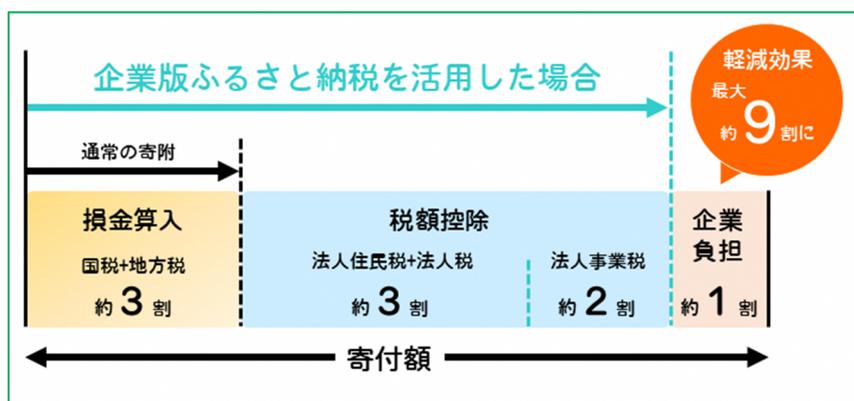
なお、自社の本社が所在する地方公共団体への寄付については、本制度の対象になりません。

制度の概要

地方税法及び租税特別措置法に基づき、内閣府が認定した「まち・ひと・しごと創生寄付活用事業」に対する寄付を行った法人に対し、寄付額の6割に相当する額の税額控除の特別措置がなされます。

現行の地方公共団体に対する法人の寄付に係る損金算入措置による軽減

効果（約3割）と合わせ、寄付額の約9割に相当する額が軽減されます。



寄附手続きについて

≫寄附の要件

- 1回あたり 10万円以上の寄付が対象です。
- あさぎり町内に本社（地方税法における主たる事務所または事業所）のある法人は対象外になります。
- 寄附を行うことによる代償として、本町から経済的利益を受けることは禁止されています。

≫申請手続き ※下図のとおり



お問い合わせ

熊本県あさぎり町役場 企画政策課

電話：0966-45-7211 ✉kikaku@asagiri.kumamoto.jp